



図書館だより

2020/07/10 発行 大阪府立寝屋川高校図書館



☆夏休みのための長期特別貸出のご案内

7月11日(土)より夏休みのための長期特別貸出を行います。

読みたい本や前から気になっていた本は **お早め**に お求めください。

貸出冊数 読みたいだけ
返却期限 8月17日(月)



延滞図書の連絡票をもらった人はすみやかに本を返却してください。

今、借りている本で夏休みも借りたいと思うものがあれば、再度貸出手続きをしてください。

予約がなければ、続けて借りることができます。

夏休み前に返却期限を過ぎてしまうものも必ず手続きに来てください。

早めに借りておきたいけれど……試験前に借りると気になって勉強が手に付かない!!

という人のためには、カウンターで「おとりおき」をいたします。

おとりおきした本は、試験最終日(7月17日)には、貸出手続きに来てください。この日を過ぎると書架にもどります。他の方が借りるということもありますので、ご注意ください。

どんな本あるかな? 特集コーナー

予告 <ムーミン 75周年 and 北欧の魅力>

1945年に最初の小説『小さなトロールとおおきな洪水』が発表されてから四分の三世紀がたちました。ムーミンはフィンランドの国民的作家であり、画家・芸術家であるトーベ・ヤンソンによって描かれ、世界中の人々から今も愛され続けています。

小さなトロールと大きな洪水

冬がくる前に家を建てようと、ムーミントロールとママはおそろしい森や沼を抜け、荒れ狂う海をわたって、お日さまの光溢れるあたたかい場所をめざします。

ムーミンのファミリーアルバム

さあ、あなたも一緒にムーミントロールたちと家族のアルバムをゆつくりわからあきましょう。

女も男も生きやすい国、スウェーデン

女性の議員や大臣も多く、父親の育休取得も当たり前の国、スウェーデン。めざすべき未来への示唆にあふれている。

オーロラ

宇宙の神秘オーロラ。誰もが一度は目にしたいと憧れるその光は、北極や南極に近い異国で見られる「世界で一番美しい光」です。

本の予約(問い合わせ)



osaka-c.ed.jp

toshio@neyagawa

などなど

<8月9日はムーミンの日!>

☆新着図書のご案内

＊ ＊ ほかにもあります。図書館で見てね。 ＊ ＊

10代から考える生き方選び 竹信三恵子 著 岩波ジュニア新書

「バリバリ働きたい」「家族も仕事も大事にしたい」「専業主婦になりたい」等、10代は具体的な職業だけでなく、理想の生き方をあれこれ思い描く時。社会や家族の変容を直視し、それぞれの選択がはらむメリットやリスクを俯瞰しながら、生き延びる方法を具体的にアドバイスする。

加害者家族を支援する：支援の網の目からこぼれる人々 阿部恭子 著 岩波ブックレット
軽犯罪から重大事件まで、被害者と加害者が生まれる狭間でバッシングの矢面に立ち、助けもなく放置される「加害者家族」。支援団体を設立し10年以上の経験を有する著者が、豊富な事例にもとづき、危機的状況への介入や集いの場の提供など、支援の必要性を訴える。

リスクの正体：不安の時代を生き抜くために 神里達博 著 岩波新書新赤版

新型コロナウイルスの脅威、相次ぐ豪雨災害、首都直下型地震の恐怖…。リスク社会化した現代日本において、私たちの日常生活はさまざまな「リスク」「不安」「恐怖」に囲まれている。これらの「不安」とどう向きあっていけばよいのか。

ランドセル俳人の五・七・五：いじめられ行きたし行けぬ春の雨－11歳、不登校の少年。生きる希望は俳句を詠むこと。 小林凜 著

たった944gでこの世に生まれた男の子。入学と同時に受けた壮絶ないじめ。母は、不登校という選択をした。学校に行けなくても、俳句があるから僕は生きていける。不登校の少年凜君は、俳句をつくり始めたことでいじめに耐えた。春の陽に彼は輝く。

君たちは今が世界 朝比奈あすか 著

6年3組の調理実習中に起きた、洗剤混入事件。犯人が名乗りでない中、担任の幾田先生が放ったその残酷な言葉は、子どもの世界に終わりと始まりを連れてきた。教室というちっぽけな王国の先に、本当の世界が待っている。

さよならの言い方なんて知らない。 河野裕 著

あなたは架見崎の住民になる権利を得ました。高校二年生の香屋歩の元に届いた奇妙な手紙。そこには初めて聞く街の名前が書かれていた。内容を訝しむ香屋だが、封筒には二年前に親友が最後に残したものと同じマークが。

君と漕ぐ：ながとろ高校カヌー部 武田綾乃 著

両親の離婚で引っ越してきた高校一年生の舞奈は、地元の川でカヌーを操る美少女、恵梨香に出会う。たちまち興味を持った舞奈は、彼女を誘い、ながとろ高校カヌー部に入部。先輩の希衣と千帆は、ペアを組んで大会でも活躍する選手だったが…。

砕け散るところを見せてあげる 竹宮ゆゆこ 著

大学受験を間近に控えた濱田清澄は、ある日、全校集会で一年生の子供生徒がいじめに遭っているのを目撃する。割って入る清澄。だが、彼を待っていたのは、助けたはずの後輩、蔵本玻璃からの「あああああああ！」という絶叫だった。

宝石商リチャード氏の謎鑑定 久遠の琥珀 辻村七子 著

富豪の少女オクタヴィアに、スリランカ随一の山岳リゾート地ヌワラエリヤのホテルへと呼び出された正義とリチャード。そこで待っていたのは、オクタヴィアとヴィンセントだった。

猫を棄てる：父親について語るとき 村上春樹 著、高妍 画

ある夏の日、僕は父親と一緒に猫を海岸に棄てに行った。歴史は過去のものではない。このことはいつか書かなくてはと、長いあいだ思っていた…。村上文学のあるルーツ。

戦争は女の顔をしていない スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著

ソ連では第二次世界大戦で百万人をこえる女性が従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦った。しかし戦後は世間から白い目で見られ、みずからの戦争体験をひた隠しにしなければならなかった。ノーベル文学賞受賞作家のデビュー作！

読書はあとから効いてくる!!～たくさん本を読もう～